

第3学年 社会科学習指導案

1. 単元名 「働く人とわたしたちの暮らし」 小単元②「ソーセージをつくるニッスイ戸畑工場の人たち」

2. 指導観

- 本学年の子どもの多くは、ありのままに観察したり、数や量に着目したり、観点に基づいたりして観察・調査することで、自分たちの住むまちの様子概要や場所によって様子が違うことをとらえることができている。また、小グループで意見を交流したり、協働して絵地図をつくったりする活動に意欲的な態度で臨むことができる。しかしながら、社会的事象の相互の関連について考える力や考えたことについて根拠や理由を明確にして説明する力が十分についていない児童が多い。
- 本単元は、小学校学習指導要領社会第3学年及び第4学年の内容②を基に設定した。ここでは、地域の人々の生産について、地域には生産に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていることや製品が一定の手順や工程で作られていること、そこで働く人の仕事の様子や国内外との関わりについて調べ、生産の仕事に携わっている人々の工夫を考えることをねらいとしている。

本小単元では、「ニッスイ戸畑工場」を事例として取り上げる。「ニッスイ戸畑工場」は、児童の住む戸畑区に位置しており、工場見学が可能である。また、児童の多数が工場で生産されている「おさかなのソーセージ」を食べた経験をもっていることから児童にとって身近な生産の仕事であり、追究意欲が持続すると考える。また、ニッスイ戸畑工場で働く人たちは、おいしさを求めて絶えず商品改良を行った上で、一定の生産工程と検査方法を確立し、常に安定した高品質の製品づくりを行っている。また、FSSC（安全な食品を提供するための国際規格）の認証を受けており、安全な製品づくりを徹底して行ったり、無添加の製品づくりを行ったりすることで、消費者が安心して製品を購入、消費できるようにさまざまな工夫や努力を行っている。これらのことから、本単元のねらいに資するものである。
- 指導に当たっては、以下の手立てを講じる。

(1) 主体的・対話的で深い学びを実現する問題解決的な学習過程

つかむ段階では、戸畑区内の生産の様子概要をとらえたのち、ニッスイ戸畑工場で作られた「おさかなのソーセージ」を提示して、試食したりパッケージを調べたりして、製造場所や製品の均一性、特色、味に着目することで学習問題とその見通しをつかむことができるようにする。

さぐる・まとめる段階では、ニッスイ戸畑工場の見学、工場で働く人へのインタビュー活動、写真や映像等の具体的な資料を基にした調査活動を行い、その製造工程や働く人の仕事をとらえ、まとめることができるようにする。さらに、さまざまな検査を何度も行っていることや徹底した衛生管理を行っていることに着目することで、工場で働く人の仕事の様子について問いをもち、工場で働く人の工夫について考えることができるようにする。

いかす段階では、学習したことを基に製品からは見えないニッスイ戸畑工場の人々の工夫を紹介するちらしづくりを行う。この活動により、製品のつくり方や生産者の工夫について学習をふり返ったり、自分たちのまちで行われる生産の仕事に誇りをもったりすることができるようにする。

(2) 対話を促す学習活動の工夫

① 問いの焦点化の工夫

事例1では、生産工程で機械や人の目をつかってさまざまな検査をした上で、さらに完成後にも食感や味を人が確かめている事実を提示して、「どうして、生産工程でたくさんの検査をしたのに、最後に食べる検査をするのだろうか。」と問いを焦点化できるようにする。

事例2では、「おさかなのソーセージ」をつくる際の工場で働く人の服装の実物を提示して、給食エプロンと比較することで、工場で働く人の服装の特徴をとらえ「どうしてこのような服装をし

ているのだろう。」というめあてを設定する。

また、衛生管理に関する工場の施設・設備の写真を提示して、服装以外でも徹底した衛生管理をしていることをつかむことで「どうして、そこまでののだろう。」と問いを焦点化できるようにする。

② 話し合い活動の工夫

さぐる・まとめる段階では、働く人の工夫に関する問いについて小グループで話し合う場を設定する。その際、工場や働く人の様子が分かる写真入りのホワイトボードや思考ツールを使って話し合う場を設定する。このことにより、工場で働く人の工夫について、具体的な仕事を総合して考えることができる場を設ける。全体交流の場では、根拠を問い返したり、具体化や一般化を図る問いかげや揺さぶり発問を行ったりすることにより、子どものさらなる対話を行うようにながし、工場で働く人の工夫について考えることができるようにする。

(3) 指導に生かす評価の工夫

本小単元では、学習の中で取り扱った製品の製造過程や働く人の工夫をとらえることができているか評価するために「おいしいソーセージをつくるために、どんな工夫をしていたのか。」「たくさんのソーセージをつくるために、どんな工夫をしていたのか。」「どうして、そこまで～していたのか。」など、ふり返りを毎時間記述する場を設定し、見取ったことを指導に生かす。

3. 特別な教育的支援を要する児童に対する指導上の工夫・手立て

困難さ	手 だ て	対象児童	番号
予想や学習問題を立てることが困難	数量を具体的な数値で提示したり、視覚的に示したり、体験的な活動を行ったりする。	A児 B児	①
視点をもって見学・調査することが困難	見学のしおりに見るべきことや聞くべきことをあらかじめ記しておき、教師が適宜声をかける。	B児 C児	②
調べた事実を基に社会的事象の関連を考慮することが困難	机間指導の際に、具体的な事例を基にどうしてこのようなことをしているのか考えるように助言する。 机間指導の際に、個別に声をかけ、文例を提示したり、実物を提示したりする。	A児 C児	③
自分の言葉でまとめることが困難	写真入りの書き込めるワークシートを工夫する。	A児 B児	④

4. 小単元の目標

社会的事象への 関心・意欲・態度	○ ニッスイ戸畑工場の「おさかなのソーセージ」の生産の仕事の様子に関心をもって意欲的に調べ、地域の人々の生産の仕事と自分たちの生活との関わりを考えようとする。
社会的な 思考・判断・表現	○ ニッスイ戸畑工場の「おさかなのソーセージ」の生産の様子から学習問題を立て、予想をもち、学習計画を考え表現することができる。 ○ ニッスイ戸畑工場で働く人の工夫を自分たちの生活と関連付けて考え、適切に表現することができる。
観察・資料活用の 技能	○ ニッスイ戸畑工場における生産の仕事の様子を的確に見学・調査したり、具体的資料を活用したりして必要な情報を集め、読み取ったりまとめたりすることができる。
社会的事象についての 知識・理解	○ ニッスイ戸畑工場の「おさかなのソーセージ」の生産の仕事に携わっている人々は、消費者が安全でおいしい製品を安心して購入できるように、工夫して仕事を行っていることを理解する。 ○ 地域の生産の仕事は、地域の人々の生活と密接なかかわりをもって行われ、自分たちの生活を支えていることを理解する。

5. 指導計画と評価計画（総時数12時間）

	主な学習活動・内容	○ 指導・支援上の留意点 ★ 特別な教育的支援を要する児童への特に困難とされる場面での支援	評価規準及び評価方法
つ か む	<p>1. 戸畑区にある工場について調べ、自分たちの暮らしと工場で作る製品とのつながりについて話し合う。①</p> <p>2. ニッスイ「おさかなのソーセージ」が同じ品質で大量に生産されていることを調べ、ソーセージの試食をしたり、ソーセージの原材料を調べたりして、学習問題をつくる。①</p>	<p>○ 自分たちの暮らしと工場をつながりをとらえることができるように、戸畑区の工場の位置を示す地図や工場の写真、工場で作られる製品や製品が使われている様子の写真を提示する。</p> <p>○ ニッスイ戸畑工場に関心を高めることができるように、ニッスイ戸畑工場で作られている「おさかなのソーセージ」を提示し、観察する場を設定する。</p> <p>○ 同質の製品が大量に生産されていることを基に学習問題をつくり、予想をもつことができるように「おさかなのソーセージ」のパッケージを観察する場やソーセージの試食を行う場を設けたり、45万本分の「おさかなのソーセージ」の写真や原材料を提示したりする。</p> <p>★ 手だて①</p>	<p>【関】 自分たちの暮らしと工場で作る製品とのつながりに関心をもっている。（発言、ノート）</p> <p>【知】 地域には生産の仕事があり、それらは自分たちの生活と関わりがあることを理解している。（発言、ノート）</p> <p>【思】 ニッスイ戸畑工場の仕事について学習問題を考え、学習問題に対する予想をもつことができている。（発言、ノート）</p>
<p>（学習問題） ニッスイ戸畑工場で働く人は、「おさかなのソーセージ」をどのようにしてつくっているのだろう。</p>			
さ ぐ る ・ ま と め る	<p>3. ニッスイ戸畑工場を見学する計画について話し合う。①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場の様子 ・製品のつくり方 ・働く人の様子や工夫 ・原材料について ・出荷 など <p>4. ニッスイ戸畑工場を見学する。②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場見学 ・工場働く人へのインタビュー活動 ・資料、映像資料による調べる活動 <p>5. 工場見学をして分かったことを、各自絵や文でまとめる。①</p>	<p>○ 工場見学の視点をもつことができるように、子どもの予想に基づいて、工場の様子を写した写真を提示する。</p> <p>○ 見学の視点にしたがって、見学やインタビューができるように、工場働く方と事前に打ち合わせをしたり、見学時に見学のポイントを声かけしたりする。</p> <p>★ 手だて②</p> <p>○ 原料・工場の様子・作り方・働く人の様子・作った後の製品の行く先等の視点にそってまとめることができるように、それぞれの様子が分かる写真などを使って、個人でまとめる場を設定する。</p>	<p>【思】 調べることや調べ方を決めるなど見通しをもち、工場見学の計画を具体的に考え、表現している。（発言、ノート）</p> <p>【技】 ニッスイ戸畑工場における「おさかなのソーセージ」の生産の仕事の様子について見学の視点に沿って工場を見学したり、工場働く人にインタビューしたりしたことをメモしている。（行動、記録）</p> <p>【技】 見学メモやパンフレットから必要な情報を取り出しながら、分かったことをノートにまとめている。（行動、記録）</p>

6. 調べたことを基に原材料や生産工程や工場
で働く人の様子や工夫
について話し合う。

(1) 原材料や生産工程
における工夫につ
いて話し合う。 ①

(2) 工場ですさまざま
な検査を機械だけでなく
人も行う理由につ
いて考える。 ①

【本時1】
(3年2組)

(3) 工場では、徹底し
た衛生管理を行う理
由について考える。 ①

【本時2】
(3年1組)

7. ニッスイ戸畑工場で
つくられた「おさかな
のソーセージ」の行き
先や居住地について、
調べ、まとめる。 ①

8. これまで学習したこ
とを基に、製品からは
見えない「おさかなの
ソーセージ」づくりの
工夫を紹介するちらし
をつくる。 ②

○ 原材料や生産工程についてさまざま
な工夫がされていることを考えることが
できるように、「おさかなのソーセージ」が
できるまでの様子を映像で振り返り、ど
んなことに気を付けているか工場で働く
人にインタビューする場を設定する。

○ 工場で働く人の製品の安全性やおい
しさを求める工夫について考えることが
できるように、完成したソーセージを食
べて食感や味を検査している工場の人の様
子の映像を提示する。そして、「どうし
て、生産工程でたくさんの検査をしたの
に、最後に食べる検査をするのだろう。」
という問いに焦点化し、ホワイトボード
を使って話し合う場を設定する。

★ 手だて③

○ 工場で働く人の衛生面の工夫につ
いて考えることができるように、給食エプロ
ンと工場の作業着を比較したり、衛生管
理を徹底するための施設や設備の様子を
提示したりする。そして、「どうして、そ
こまで、衛生に気を配る必要があるのか。」
という問いに焦点化し、ホワイトボードを
使って、考えを話し合う場を設定する。

★ 手だて③

○ 物や人による他地域との関わりをとら
えることができるように、原料の入手先
や製品の送り先を白地図にまとめる活動
を設定する。

○ できあがったちらしを基に、工夫を紹介
し合う場を設定する。

★ 手だて④

【思】 工場では、一定の順序
や工程で生産しているこ
とやさまざまな仕事を分
担して責任をもって行う
ことで、おいしい「おさ
かなのソーセージ」をつ
くっていることを考え適
切に表現している。

(発言、ノート)

【思】 ニッスイ戸畑工場
で働く人は、確実に不良品
を見分けたり、おいしい製
品かどうか検査したりす
ることで、消費者がおい
しくて安全な製品を安心
して購入できるように工
夫して「おさかなのソー
セージ」をつくっている
ことを考えている。

(発言、ノート)

【思】 ニッスイ戸畑工場
で働く人は、衛生に気を配
り、消費者が安心して製
品を購入することができ
るように工夫して「おさ
かなのソーセージ」を
作っていることを考えて
いる。(発言、ノート)



【知】 ニッスイの「おさかな
のソーセージ」はトラッ
クで日本中に運ばれて売
られていることやさまざ
まな地域の人が工場
で働いていることを理解
している。(発言、ノート)

【知】 ニッスイ戸畑工場
で働く人たちが、さまざま
な工夫をして、ソーセ
ージをつくることで、自分
たちは安心しておいしく
ソーセージを食べること
ができることを理解して
いる。(作品)

6. 本時の学習







本時1 さぐる・まとめる段階 第6時 (於: 3年2組教室)

- (1) **主眼** ニススイ工場で働く人が生産工程でさまざまな検査をした上で、最後にソーセージを食べる検査を行う理由について考える活動を通して、工場で働く人は確実に不良品を見分けたり、おいしい製品かどうか検査したりすることで、消費者がおいしくて安全な製品を安心して購入できるように工夫して「おさかなのソーセージ」をつくっていることを考えることができるようにする。
- (2) **準備** 検査の様子や内容を示す資料、ソーセージを食べる検査をする様子の映像資料
- (3) **展開**

主な学習活動・内容	○ 指導・支援上の留意点 【観点】 評価規準 (評価方法) ★ 特別な教育的支援を要する児童への特に困難とされる場面での支援のポイント
<p>1. 前時の学習を想起し、本時のめあてを確かめる。</p> <p>(めあて) ニススイ工場では、なぜたくさんの検査をするのだろうか。</p> <p>2. 調べたことを基に、全体でたくさんの検査をする理由について話し合う。</p> <div data-bbox="202 853 279 965">  <p>危険物が入っていないか確認したり、大きさが違う製品を取り除いたりするために検査しているよ。</p> </div> <p>3. 最後にソーセージを食べる検査を行う理由について話し合う。</p> <p>(1) 個人で自分の考えを書く。 (2) グループで話し合う。 (3) 学級全体で話し合う。</p>	<p>○ めあてをつかみ、見通しをもつことができるように、前時までの学習をまとめた学びのあしあとを提示する。</p> <p>○ 一人一人が意見をもって話し合いに参加することができるように、自分の考えをノートに記述する場を前時までに設けておく。</p> <p>○ 工場で働く人の製品の安全性やおいしさを求める工夫について考えることができるように、完成したソーセージを食べて食感や味を検査している工場の人の様子の映像を提示して、「どうして、生産工程でたくさんの検査をしたのに、最後に食べる検査をするのだろうか。」と問いを焦点化する。</p> <p>★ 手だて③ C児には、「食べるとどんなことが分かるのか。」と声をかけたり、「食べる検査をするのは、～するため。」という文例を提示したりする。</p> <p>◎ 「最後に食べる検査を行う理由」について考えることができるように、検査を行う様子の写真や検査項目を貼ったホワイトボードを使って小グループで話し合う場を設定する。</p>
<div data-bbox="202 1377 1433 1691">  <p>個人 → グループ・全体 → 個人</p> <p>もしも、機械が壊れていたら困るから食べる検査をして、確実な検査にしたいんだと思う。</p> <p>不良品を売ったら信用されなくなるよ。だから、工場で働く人は、何度も点検して食べる検査までしているんだと思う。</p> <p>不良品を買ったお客さんは、買わなきゃよかったと思うよね。そんなことにならないようにしているんじゃない。</p> <p>何回も検査するのは、絶対に安全で、しかもおいしいソーセージをつくるためだよ。食べる人のことを考えて、責任をもって食べる検査までしているんだね。</p> <p>見た目だけじゃなくて、細かい食感や味にまでこだわれば、買う人が「ソーセージを買うなら絶対に安全でおいしいニススイのものにしよう。」と思える製品になるよ。</p> </div>	
<p>4. 本時の学習をまとめ、次時の学習について話し合う。</p> <p>(まとめ) ニススイ工場の人には、安全でおいしいソーセージをつくるために、機械や自分の目、食感を使ったたくさんのけんさをしている。</p>	<p>○ 本時の学習をまとめることができるように、めあてに対する自分の考えを再構成する場を設定する。</p> <p>【思】 工場で働く人は、確実に不良品を見分けたり、おいしい製品かどうか検査したりすることで、消費者がおいしくて安全な製品を安心して購入することができるように工夫して「おさかなのソーセージ」をつくっていることを考えている。(発言、ノート)</p> <p>○ 次時の学習の見通しをもつことができるように、工場の作業服を提示し、その工夫を想起するようにする。</p>

本時2 さぐる・まとめる段階 第7時 (於：3年1組教室)

- (1) 主眼 ニススイ戸畑工場で働く人の作業着と給食エプロンを比べたり、服装以外にも衛生に気を配る理由について話し合ったりする活動を通して、工場で働く人は、衛生に気を配り、消費者が安心して製品を購入することができるように製品を作っていることを考えることができるようにする。
- (2) 準備 工場で働く人が着ている作業着、給食エプロン、衛生管理に関する工場の施設の写真
- (3) 展開

主な学習活動・内容	○ 指導・支援上の留意点 【観点】 評価規準 (評価方法) ★ 特別な教育的支援を要する児童への特に困難とされる場面での支援のポイント
<p>1. 前時の学習を振り返り、本時の学習のめあてを話し合う。</p> <p> 作業服は、給食エプロンより身につけるものがたくさんあるな。</p>	<p>○ 本時の学習のめあてをつかむことができるように、給食エプロンと作業着を比べ、気付いたことを交流して工場の作業服の特徴をとらえるようにする。</p>
<p>(めあて) ニススイ工場の人には、なぜ給食エプロンとはちがう服そうをしているのだろう。</p>	
<p>2. 給食エプロンと作業着と比較し、相違点を見つけ、その理由を考える。</p> <p> 給食エプロンは、一枚の帽子だよ。だけど、工場の作業着は、髪が入らないように、帽子を二重にかぶっているよ。</p>	<p>○ 徹底して衛生管理をしていることに気付くことができるように、帽子、手袋、長靴などを提示し、給食エプロンとの違いに目を向けるように実物を提示する。</p> <p>○ 作業着以外でも衛生を保つよう気をつけていることを想起し、工場では衛生に気を配る必要性に問いをもつことができるように、給食時間や工場の様子を写真で提示する。</p>
<p>3. ニススイ工場で働く人が、服装以外にも衛生に気を配る理由について話し合う。</p> <p>(1) 個人で自分の考えを書く。</p> <p>(2) グループで話し合う。</p> <p>(3) 学級全体で話し合う。</p>	<p>★ 手だて③ 机間指導の際に、A児には機械や設備の写真を指し示し、どうしてここまで徹底するのか考えるように助言する。</p> <p>◎ 徹底して衛生に気を配っている理由を考えることができるように、ホワイトボードに衛生管理に関する写真を用意し、小グループで話し合う場を設定する。</p> <p>【思】 工場で働く人は、衛生に気を配り、消費者が安心して製品を購入することができるように製品を作っていることを考え、適切に表現している。(発言、ノート)</p>
<p style="text-align: center;">個人 ←————→ グループ・全体 →————→ 個人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="183 1467 359 1736" style="width: 20%;"> <p>機械を掃除するのはほこりやバイ菌が入らないようにするためだと思ふ。</p> <p></p> </div> <div data-bbox="375 1467 550 1736" style="width: 20%;"> <p>ほこりが入っていたら、お客さんは買わないと思ふ。</p> <p>ほこりやごみが入っていたらおいしくなさそうだし、病気になりそう。</p> </div> <div data-bbox="566 1467 742 1736" style="width: 20%;"> <p></p> </div> <div data-bbox="758 1467 933 1736" style="width: 20%;"> <p>お客さんが買いたくないって思うような商品は作りたくないよね。</p> <p>ニススイ工場の人には、お客さんが買わなかったらソーセージをつくる意味がないよね。</p> </div> <div data-bbox="949 1467 1125 1736" style="width: 20%;"> <p>つまり、ニススイ工場の人には、お客さんに安心してたくさん買ってもらうために衛生に気を付けているんだね。こんなに気をつけるのは、お客さんのためなんだね。</p> <p></p> </div> </div>	
<p>(まとめ) ニススイ工場の人には、お客さんに安心して買ってもらえるように給食エプロンとはちがう服そうをしている。</p>	
<p>4. 本時の学習を振り返り、次時の学習について見通しをもつ。</p> <p> 製品は、この後、どこへ運ばれていくのだろう。</p>	<p>○ 本時の振り返りができるように、めあてについてもう一度自分の考えをまとめる時間を設定する。</p> <p>○ 製品を出荷している写真を提示し、製品の搬送先の子予想を話し合う場をもち、次時の学習の見通しをもつことができるようにする。</p>